

令和3年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和2年度実績に基づく評価）				作成日 令和 3 年 8 月 6 日			
政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり	施策主管課長	観光立市推進課		
	政策名	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		高橋 利彰		
	施策名	1	ひとを集める観光戦略の展開				
施策関係課	都市ブランド推進課、市民活動促進課、市民生活課、産業立市推進課、農政課、農山村振興課、文化立市推進課、スポーツ立市推進課、文化財課						

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか		対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方	
	①国内に居住する人(関東地方)	②アジアの観光客	③市民	① 関東地方1都6県の人口	② アジアからの観光客数	③ 市の人口		千人	43,359	43,464		—
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか		成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法
	①②佐野市を訪れてもらう。	①②佐野市に宿泊してもらう。	③おもてなしの心で観光客を受け入れられる。	① 市の観光入込客数	② 市の観光宿泊客数	③ 外国人宿泊客数		千人	10,000	10,000	10,000	
				目標実績	目標実績	目標実績	千人	8,741	8,575	6,474		② 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果
				目標実績	目標実績	目標実績	人	47,000	48,000	49,000	50,000	③ 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果
				目標実績	目標実績	目標実績	人	61,489	61,658	38,638		④ 観光立市推進課資料
				目標実績	目標実績	目標実績	人	700	800	900	1,000	
				目標実績	目標実績	目標実績	人	971	1,390	354		
				目標実績	目標実績	目標実績	人	50	60	60	70	
				目標実績	目標実績	目標実績	人	35	41	36		

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
積極的な誘客を図る観光戦略の推進	①国内に居住する人 ②アジアの観光客	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	① 市の観光入込客数	目標実績	千件	10,000	10,000	10,000	10,000	コンベンション事業の推進	①関連イベント ②関連作品	①本市で開催する。 ②本市で撮影してもらう。	① コンベンション協会の設立	目標実績	件	0	1	-	-
			② 広域での連携事業数	目標実績	事業	15	15	16	16				② コンベンション事業数	目標実績	事業	8	8	8	8
			③ テレビ(全国ネット)が取り上げた件数	目標実績	件	10	10	10	10				③ ロケ誘致件数	目標実績	件	55	55	55	55
インバウンド誘客の強化	①市内事業所 ②アジアの観光客	①受入環境を整備してもらう。 ②本市に来訪、宿泊してもらう。	① ハラール対応店舗数	目標実績	店	16	18	20	22	おもてなしの心の醸成	①市民	観光客に対するおもてなしの心が醸成されている。	① 観光ボランティアガイドの活動回数	目標実績	回	95	100	100	100
			② 外国人宿泊数	目標実績	人	700	800	900	1,000				② まちの駅の数	目標実績	箇所	55	55	55	55
			③	目標実績									③	目標実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和2年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	取組方針	成果指標	達成状況	備考	取組方針	成果指標	達成状況	備考
基本事業	積極的な誘客を図る観光戦略の推進	・首都圏を中心に、県、近隣市町及び関係機関と連携した広域的な観光キャンペーンを実施するとともに、本市の観光情報・魅力をSNS等により効果的に発信する。 ・栃木DCをきっかけとした本市における観光誘客の仕組みづくりと定着の推進を図る。 ・DMO設立に向けた調査・研究を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言発出のもと、近隣市町、関係機関と連携した広域的な観光キャンペーン及び観光キャラバン等の実施に困難を極め、スカイツリーにおいてのキャンペーン1回のみとなった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により積極的なインバウンド活動はできなかったが、本市のムスリム受入態勢が充実していること(両毛ムスリムインバウンド推進協議会、フレンドリーショップ、佐野マズジ)を訪日オンラインツアーを通じて、プロモーションすることができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、上半期は撮影誘致等ができない状況であったが、栃木県FCとも連携を図りロケ誘致を図った。また、ロケ地マップを作成し、配布することにより観光誘客を図った。 ・観光ボランティアガイド養成講座を開催し、観光ボランティアガイドの育成に努めた。 ・(仮称)DMOの設立準備委員会を設置し、候補法人となるための「観光地域づくり法人形成・確立計画」を観光庁に申請するとともに、コンベンション事業を行うための体制の研究を行った。			
	インバウンド誘客の強化	・両毛ムスリムインバウンド推進協議会や企業等と連携し、ムスリム受入態勢の充実を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【成果指標達成状況】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客入込数が前年比▲24.5%、観光客宿泊数が▲38.3%、外国人宿泊客数においては▲78.3%となった。			

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
・圏央道の大部分が開通したことにより観光圏が広がった。 ・2021年に「東京オリンピック」が開催される。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により2020年5月の訪日客数は前年同月比99.9%減となり、当面の間インバウンドによる誘客は見込めない。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「Go To トラベルキャンペーン」は2020年12月28日から一時停止している。更に令和3年1月には2度目の緊急事態宣言が発出され、観光誘客面で大きな影響を及ぼしている。	・市内の魅力を伝える。 ・フィルムコミッション事業にエキストラとして協力する。 ・おもてなしの心で受け入れる。 ・観光ボランティアとして協力する。 ・外国人旅行者への理解を深める。	・フィルムコミッション事業にロケ地の提供などの協力をする。 ・旅行者のニーズに対応した商品、サービスの開発、提供 ・行政との積極的な連携 ・まちの駅に登録する。	・市内の観光資源を効果的に結び付け、総合的な観光PR活動を展開する。 ・事業者や関係機関と連携し、観光PRを行う。 ・効果的な誘客対策の実施 ・「新しい生活様式」に沿った受入環境整備 ・広域連携による観光誘客策の検討 ・おもてなしの心の普及、啓発をする。	

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、施策の成果指標にマイナスに作用した。観光客入込数が前年比▲24.5%、観光客宿泊数が▲38.3%、外国人宿泊客数においては▲78.3%となった。 ・積極的なインバウンド活動はできなかったが、大手旅行事業者と連携し、海外旅行事業者向けのオンラインツアーという新たなツールによって、本市をプロモーションすることができた。 ・フィルムコミッション事業においては、在京民放のドラマの撮影を誘致できた。また、ロケ地マップを作成・配布することにより本市のPRと観光誘客を図ることができた。 ・「ひとを集める観光戦略の展開」部分の令和2年度決算見込額は約2,705万円で、令和元年度決算額に対して約900万円減少した。主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「さの秀郷まつり」及び「どまんなかフェスタ」の開催を見送ったことである。	【令和3年度で解決する課題】 ・第4次佐野市観光立市推進計画の策定 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①栃木県や近隣市町及び観光協会と連携し、効果的かつ広域的な観光PR活動を実施 ②ムスリムの受入体制の充実 ③観光客に対する市民の「おもてなしの心」の醸成 ④観光地域づくりを行うための観光地域づくり候補法人(候補DMO)の支援を行う。 【令和4年度重点課題】 ⑤コロナ禍における観光誘客対策の検討と推進	①コロナ禍での近隣市町、関係機関と連携した広域的かつ効果的な観光キャンペーンの実施等、本市の観光情報・魅力を発信する。 ②新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら両毛ムスリムインバウンド推進協議会や企業等と連携し、インバウンド向けの情報発信や受入態勢の充実を図る。 ③新型コロナウイルス感染症対策を講じ、観光ブース及び観光案内所に観光ボランティアガイドを積極的に配置するなど、観光ボランティアガイドの利用促進を図るとともに、「おもてなしの心」で観光客をもてなすボランティアガイドの育成・増員を図る。 ④観光地域づくり候補法人(候補DMO)と積極的な連携を図り、マーケティングを通じて本市を訪れる観光客の動向等を把握し、観光誘客の仕組みづくりに活用する。 ⑤コロナ禍において新しい生活様式に沿った観光誘客の仕組みづくりに研究する。